

アストラゼネカ COVID-19 ワクチン「バキスゼブリア™筋注」の 国内供給に向けた受託製造契約締結のお知らせ

ニプロ株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長:佐野 嘉彦、以下「当社」)および当社医薬品製造子会社ニプロファーマ株式会社(本社:大阪府中央区、代表取締役社長:西田 健一、以下「ニプロファーマ」)は、アストラゼネカ株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長:ステファン・ヴォックスストラム、以下「アストラゼネカ」)と、アストラゼネカのCOVID-19ワクチン「バキスゼブリア™筋注」(以下「本医薬品」)の製剤化工程の製造に係る受託製造契約(以下「本契約」)を締結したことを、お知らせいたします。

本医薬品は2021年5月21日付でアストラゼネカが特例製造販売承認を取得したものであり、同社が日本政府と供給契約を締結している1億2千万回分のうち9千万回分以上の原液生産から製剤化までが日本国内で行われる予定です。本契約締結に伴い、2021年6月から、その国内生産分の一部をニプロファーマが製剤化することとなりました。なお、本医薬品は冷蔵温度(2~8℃)での流通、保管が少なくとも6カ月間可能です。

ニプロファーマは、アストラゼネカより受けた入念な技術指導と、ワクチン製造のために構築した製造設備および生産体制に基づき、本医薬品の製造ならびに生産能力の維持、拡充に引き続き尽力してまいります。

当社は医療機器、医薬品の総合医療メーカーとして、今後ともCOVID-19の収束の実現に向け、信頼の技術で貢献してまいります。

※バキスゼブリア™はアストラゼネカの商標です。

お問い合わせ先

本リリースの内容に関するご照会 : 医薬事業部 医薬開発推進部 TEL06-6375-6709

※受付時間: 9時~17時45分(土・日・祝日・弊社休業日を除く)